

ステップ1

「潜在家庭類型」を分類・算出する

- ・ ニーズ調査の結果をもとに、対象となる子どもの父母の有無及び就労状況により、潜在家庭類型8種類に分類する。
- ・ 分類にあたっては、現在の就労状況に将来の就労意向を反映した「潜在家庭類型」によるものとし、各類型の実数及び割合を算出する。

■0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	190	0.079	190	0.079
タイプB フルタイム×フルタイム	589	0.343	656	0.382
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	259	0.151	273	0.159
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	50	0.029	113	0.066
タイプD 専業主婦(夫)	675	0.393	532	0.310
タイプE パート×パート(双方向120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.001	3	0.002
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.000	0	0.000
タイプF 無業×無業	5	0.003	3	0.002
全体	1,716	1.000	1,716	1.000

ステップ2

各事業の「利用意向」を算出する

- ・ 各事業に該当するニーズ調査の設問の回答状況により、「利用意向」を求める。
(利用意向) = (利用意向率) × (利用意向頻度)
※(利用意向率): 当該事業を利用したいと答えた割合
※(利用意向頻度): 当該事業を利用したいと答えた頻度

	発生頻度	利用意向日数(日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.908	11.417	0.454
タイプB フルタイム×フルタイム	0.427	8.730	3.728
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48～120時間の一部)	0.244	9.273	2.267
タイプE パート×パート(双方向120時間以上+48～120時間の一部)	0.500	2.000	1.000

【注】0～就学前家庭のみ

ステップ3

「量の見込み」を算出する

- ・ 対象となる児童数を掛け合わせて、「量の見込み」を求める。
(量の見込み) = (推計児童数) × (潜在家庭類型の割合) × (利用意向)
※(利用意向): ステップ2で算出した利用意向

<0～5歳以下家庭のみ>

<家族類型別児童数の算出>

	a.推計児童数(人)	b.潜在家庭類型(割合)	c.家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	13,880	0.079	1,100
タイプB フルタイム×フルタイム		0.382	5,306
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.159	2,206
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.066	919
タイプE パート×パート(双方向120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	24

<ニーズ量の算出>

	c.家庭類型別児童数	d.利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	1,100	0.454	3,799
タイプB フルタイム×フルタイム	5,306	3.728	19,781
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2,206	2.267	5,005
タイプE パート×パート(双方向120時間以上+下限時間～120時間の一部)	24	1.000	24

28,610

<回答者>

総数 1,716人

フル×フル	589人	34.3%
-------	------	-------

<潜在家庭類型>

総数 1,716人

フル×フル	656人	38.2%
-------	------	-------

病児・病後児
保育施設の
利用希望あり

42.7%

病児・病後児
保育施設の
利用希望日数
(平均)

8.730日

利用意向 (0.427 × 8.730 = 3.728)

3.728

<推計児童数>

総数 13,880人

フル×フル	5,306人
-------	--------

13,880人 × 38.2% = 5,306人

5,306人 × 3.728 = 19,781人日

19,781人日